

令和8年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和7年8月7日

上場会社名 中日本興業株式会社

上場取引所 名

コード番号 9643

URL <http://www.nakanihonkogyo.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）服部 徹

問合せ先責任者（役職名）取締役 感動創造支援本部本部長

（氏名）加藤 康章 （TEL）(052) 551-0274

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 令和8年3月期第1四半期の業績（令和7年4月1日～令和7年6月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第1四半期	912	12.5	△1	—	7	—	0	—
7年3月期第1四半期	810	△19.7	△37	—	△32	—	△39	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第1四半期	0.08	—
7年3月期第1四半期	△74.70	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年3月期第1四半期	5,316	3,244	61.0
7年3月期	5,206	3,187	61.2

（参考）自己資本 8年3月期第1四半期 3,244百万円 7年3月期 3,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
8年3月期	—				
8年3月期（予想）		30.00	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の業績予想（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	14.4	80	—	90	—	70	—	131.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	8年3月期1Q	540,000株	7年3月期	540,000株
② 期末自己株式数	8年3月期1Q	9,443株	7年3月期	9,443株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	8年3月期1Q	530,557株	7年3月期1Q	530,604株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、景気は緩やかに回復の動きが見られたものの、エネルギーコストや原材料価格の高騰に加えウクライナ・中東地域における地政学リスクや米国の関税引き上げへの懸念など不安定な海外情勢により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社では、お客様に楽しんでいただける企画を実施するとともに、満足いただける環境創りにも努めてまいりました。

この結果、売上高は9億12百万円（前年同期比12.5%増）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失37百万円）、経常利益は7百万円（前年同期は経常損失32百万円）、四半期純利益は0百万円（前年同期は四半期純損失39百万円）となりました。

【シネマ事業】

シネマ事業では、邦画のシェアは高く推移し、アニメ作品も引き続き好調を維持するなど、興行成績全体の上位を占めました。また、映画の上映に留まることなく、独自の企画運営をし、イベント付きの上映会の継続実施、ODSの興行に注力してまいりました。主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「#真相をお話しします」、6月公開「国宝」、洋画では、4月公開「マインクラフト／ザ・ムービー」、5月公開「ミッション：インポッシブル／ファイナル・レコニング」、6月公開「F1／エフワン」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 隻眼の残像」、5月公開「呪術廻戦 劇場版総集編『懐玉・玉折』」、ODSでは、5月公開「SEVENTEEN [RIGHT HERE] WORLD TOUR IN CINEMAS」などの番組を編成いたしました。

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi. Coo.」では、安全で健康にも配慮した食材を使用した商品を提供するとともに、イベント等も積極的に実施してまいりました。

名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、映画とのコラボレーション商品や季節商品の開発について、積極的に実施してまいりました。

この結果、当事業では売上高は8億23百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は2百万円（前年同期はセグメント損失44百万円）となりました。

【アド事業】

アド事業においては、お客様のニーズを捉えた営業活動を継続し、顧客満足度をあげるよう努めてまいりました。しかしながら、資材の高騰による影響等もあり厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上高は60百万円（前年同期比12.9%減）、セグメント損失は9百万円（前年同期はセグメント利益2百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業においては、既存賃貸物件の賃料水準は概ね堅調に推移し、新規賃貸物件のクリニックテラス覚王山も5月にオープンいたしました。また、同じく新規賃貸物件の覚王山医療モール（第二計画）については、6月に着工いたしました。

その結果、売上高は28百万円（前年同期比46.9%増）、セグメント利益は6百万円（前年同期比51.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は53億16百万円となり、前事業年度末に比べ1億9百万円の増加となりました。主な要因は、固定資産の増加1億86百万円となっております。

負債合計は、20億71百万円となり、前事業年度末に比べ52百万円の増加となりました。主な要因は、固定負債の増加29百万円となっております。

純資産は、32億44百万円となり、前事業年度末に比べ57百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和8年3月期の業績予想につきましては、令和7年5月13日公表時から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和7年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	598,253	499,173
受取手形及び売掛金	241,813	258,309
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	13,226	14,719
原材料及び貯蔵品	5,877	6,263
前払費用	33,566	31,173
預け金	41,144	37,634
未収消費税等	75,216	81,655
未収還付法人税等	11,702	10,079
その他	23,824	28,417
流動資産合計	1,344,625	1,267,426
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,408,841	1,388,036
構築物（純額）	43,012	40,388
機械装置及び運搬具（純額）	69,261	66,566
工具、器具及び備品（純額）	281,685	284,176
土地	695,913	695,913
建設仮勘定	23,582	135,618
有形固定資産合計	2,522,296	2,610,700
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	110,457	104,357
無形固定資産合計	111,604	105,504
投資その他の資産		
投資有価証券	720,989	827,939
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	474,440	474,440
長期前払費用	22,490	19,991
投資その他の資産合計	1,227,920	1,332,370
固定資産合計	3,861,821	4,048,575
資産合計	5,206,447	5,316,001

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和7年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	400,140	382,832
1年内返済予定の長期借入金	34,992	34,992
リース債務	81,908	83,142
未払金	113,484	113,074
未払法人税等	5,415	3,429
未払費用	118,123	126,875
契約負債	58,944	59,761
従業員預り金	4,941	6,575
賞与引当金	19,000	9,690
その他	41,623	81,037
流動負債合計	878,574	901,411
固定負債		
長期借入金	553,346	544,598
リース債務	167,292	169,999
退職給付引当金	83,491	81,929
長期末払金	68,558	66,723
資産除去債務	91,467	91,840
受入保証金	75,020	75,020
繰延税金負債	101,287	139,595
固定負債合計	1,140,463	1,169,706
負債合計	2,019,037	2,071,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	59,346	43,429
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	199,075	199,120
利益剰余金合計	2,705,921	2,690,050
自己株式	△72,618	△72,618
株主資本合計	2,903,316	2,887,445
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	284,093	357,439
評価・換算差額等合計	284,093	357,439
純資産合計	3,187,409	3,244,884
負債純資産合計	5,206,447	5,316,001

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
売上高	810,781	912,317
売上原価	388,583	456,509
売上総利益	422,197	455,808
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	15,017	14,561
人件費	165,022	167,542
賞与引当金繰入額	9,890	9,690
退職給付費用	1,750	3,308
減価償却費	43,924	47,198
地代家賃	100,132	100,152
水道光熱費	18,721	20,031
修繕費	1,980	995
その他	103,412	93,345
販売費及び一般管理費合計	459,852	456,826
営業損失(△)	△37,654	△1,017
営業外収益		
受取利息	638	940
受取配当金	7,956	9,554
その他	270	879
営業外収益合計	8,865	11,375
営業外費用		
支払利息	425	1,639
長期前払費用償却	1,517	1,567
その他	1,976	135
営業外費用合計	3,918	3,342
経常利益又は経常損失(△)	△32,708	7,014
特別損失		
固定資産除却損	-	1,979
特別損失合計	-	1,979
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△32,708	5,035
法人税等	6,925	4,990
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,634	45

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期 損益計算書 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	686,648	—	—	686,648	—	686,648
飲食店関連	35,127	—	—	35,127	—	35,127
看板製作及び広告関連	—	69,328	—	69,328	—	69,328
顧客との契約から生じる収益	721,775	69,328	—	791,104	—	791,104
その他の収益	—	—	19,677	19,677	—	19,677
外部顧客への売上高	721,775	69,328	19,677	810,781	—	810,781
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	721,775	69,328	19,677	810,781	—	810,781
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△44,294	2,611	4,028	△37,654	—	△37,654

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期 損益計算書 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	781,228	—	—	781,228	—	781,228
飲食店関連	41,802	—	—	41,802	—	41,802
看板製作及び広告関連	—	60,389	—	60,389	—	60,389
顧客との契約から生じる収益	823,031	60,389	—	883,421	—	883,421
その他の収益	—	—	28,896	28,896	—	28,896
外部顧客への売上高	823,031	60,389	28,896	912,317	—	912,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	823,031	60,389	28,896	912,317	—	912,317
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,417	△9,553	6,118	△1,017	—	△1,017

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
減価償却費	48,335千円	57,931千円